

1. イエス様はある日、サマリヤという町をお通りになりました。  
そこで、一人の女の人と出会いました。その女の方は、井戸に水をくみにきていたのです。  
この女の人、何だかさびしそうな顔をしていますねえ・・・
2. 女「私さびしいんです。つらいことがいっぱいありすぎて、悲しんです。水を飲んでもすぐに渴いてしまうように、私の心もいつも渴いているんです・・・」
3. 女「うちには男の人が住んでいます。この人と住んだら幸せになれるかなあと思って一緒に住んだんですけど、お酒を飲んで暴れてばかりで、私ぜんぜん幸せじゃないんです・・・」
4. そんな女の人にむかって、イエス様はおっしゃいました。

イエス様「その男の人を信じるのではなく、私を信じなさい。そうすれば、あなたは幸せになりますよ。」

女 「本当ですか!? 私でも幸せになることができるのですか・・・?」

5. この時、イエス様が約束してくださったみことばがこれです。

「わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渴くことはありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」 ヨハネ 4:14

これは、イエス様を信じるなら、豊かな人生をおくることができるっていう約束のみことばなんだよ。

6. こうしてサマリヤの女は、幸せな一生を過ごしました。イエス様を知ってよかったね。めでたしめでたし。

おしまい。